

お詫びと訂正

第76巻2号に掲載させていただきました下記論文の記載に誤りがございました。深くお詫び申し上げます。

該当箇所	第76巻2号：140p 右側36行目—141p左側1行目
タイトル	集談会記事 第7回北海道東北筋強直性ジストロフィー臨床研究会
誤	の再評価の依頼が度々ある。そこで、病棟スタッフが食事の再評価の依頼が度々ある。そこで、病棟スタッフが食事
正	の再評価の依頼が度々ある。そこで、病棟スタッフが食事
該当箇所	第76巻2号：141p 右側47行目—142p左側1行目
タイトル	集談会記事 第7回北海道東北筋強直性ジストロフィー臨床研究会
誤	実情や意見をくみ取り、包括的にマネジメントすることが6. 筋強直性ジストロフィー1型患者同士のコミュニケー
正	実情や意見をくみ取り、包括的にマネジメントすることが相談支援専門員の大きな役割である。 6. 筋強直性ジストロフィー1型患者同士のコミュニケー
該当箇所	第76巻2号：142p 右側46, 47行目—143p左側1, 2行目
タイトル	集談会記事 第7回北海道東北筋強直性ジストロフィー臨床研究会
誤	切開による発話困難、自閉傾向により表出が少なく依頼することに抵抗感があることから独断行動し転倒している。切開による発話困難、自閉傾向により表出が少なく依頼することに抵抗感があることから独断行動し転倒している。
正	切開による発話困難、自閉傾向により表出が少なく依頼することに抵抗感があることから独断行動し転倒している。 【課題】 今後も疾患の進行とともに自身で行えることが限ら